

国際交流員オギー通信

Гайн байна уу
Сайн байна!
(モンゴル語で「こんにちは」)

民族衣装

問合先 自治振興課

モンゴルの民族衣装のことを「デール」と言います。立てえりですその長いデールは何千年に渡ってモンゴルの特徴を守ってきました。デザインは自然、気候、遊牧生活、伝統習慣などを強く表しています。

モンゴルには、ハルハ族とカザフ族という二つの大きな民族のほか、20以上の小部族があり、部族ごとに衣装にはそれぞれの特徴があります。そのほか、四季、男女、老人や若者、結婚した人や結婚していない人、身分の差、時代などによってデールは200種類もあると言われています。着脱は簡単で、右肩と右脇のボタンをとめるだけです（右脇ボタン式もあります）。そして、帯をしめ、下にブーツを履いて、帽子をかぶります。一緒に身につけるブーツや帯や帽子も数十種類があります。現在は遊牧民が日常的にデールを着用していますが、定住生活を送る町の人々はお祭りの日、結婚式、卒業式などの特別な日に民族衣装を着ています。



国際交流員のオギー

今月のモンゴル語

Дэ эл (デール) : デール (モンゴルの民族衣装)
Бүс (ブセ) : 帯
Гутал (グタル) : ブーツ
Малгай (マルガイ) : 帽子

各種協定締結自治体紹介

本市とさまざまな協定を締結している自治体を紹介します。



福島県棚倉町

ふるさと逸品協定締結式



▲平成30年10月5日、福島県棚倉町湯座 一平 町長(右)と「ふるさと逸品協定」を締結。

- 面積 : 159.93km²
- 人口 : 13,956人・5,053世帯 (令和元年11月1日現在)
- 町の木 : 松 ●町の花 : つつじ

棚倉町は福島県の南部に位置し、東に鮫川村・浅川町、西は栃木県那須町・大田原市、南は塙町・矢祭町・茨城県大子町、北は白河市と接しています。地形については極めて変化に富んでおり、農業・林業・畜産とすべてに適した条件を有しています。

慶応4 (1,868) 年に戊辰戦争で落城するまでの244年間、棚倉藩六万石の城下町として栄え、明治22年の町村施行令によって、棚倉町、社川村、高野村、近津・山岡組合村が誕生、昭和30年1月1日これら1町3村が合併し、「棚倉町」として現在に至っています。

特産品は、いちご、ブルーベリー、コシヒカリなどが有名です。

